

一般質問

ここがききたい

12月定例議会では、17人の議員が登壇し、台風19号の稲わら処理などの質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して、お知らせします。

甚大な被害に見舞金支給せよ

市長／災害見舞金支給要綱を適用する



さとう 悟 議員

議員 台風19号の最大雨量は、瀬峰で264ミリ、高清水で258ミリを記録。築館荒川の堤防決壊、築館・栗駒の芋塚川、瀬峰の小山田



台風19号で完全に水没してしまった農道

川などの大洪水で住家・非住家浸水、水田の冠水、稲わら流出など甚大な被害を被った、次の点を伺う。

- ①罹災・被災証明書の件数
- ②床上・床下浸水の棟数
- ③市独自の見舞金の支給
- ④流出稲わらの対応
- ⑤災害復旧事業の見直し

市長 ①発行は、罹災64通被災214通。

②浸水は、住家床上22棟・床下63棟、非住家床上17棟・床下28棟。

③災害見舞金は、住家全壊・全焼・流出10万円、大規模半壊5万円、半壊・半焼・床上浸水3万円、死亡30万円、入院30日以上5万円。

④流出稲わらは、圃場などに堆積計3626・4立方メートルで、処理施設への搬入期間は、柔軟に対応する。

⑤農地・農業用施設328国・県道7、市道・農道344か所、測量設計次第発注、補助災害は、査定後発注する。年度内に契約締結し、早期完成を目指す。

議員 3つの迫川の河川整備、金成大原木地内の堤防構築の現状と対策はどうか。

市長 荒川の築堤、照越川の護岸工事を進めている。堤防整備は、平成27年計画され、優先性を考慮し実施と聞いている。国や県に要望を行っている。

災害対応の現在の状況は

市長／堆肥の処理など早急に進めている



相馬 勝義 議員

議員 災害で堆積した稲わらの処理が課題。現在の状況はどうか。

市長 畜産農家と連携した堆肥などへの利用をお知らせし、協力を依頼。11月18日から処理施設のアグリテック宮城に運搬いただき



稲わらの懸命な処理が行われている

堆肥への処理をしている。**議員** 今後、福祉避難所が必要になってくると思う。どのように考えているか。

市長 内閣府より示された「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」でも、設置を求められている。市としても、社会福祉法人4事業所と開設に向けて協議を進めている。

新グラウンドの対策状況は

議員 築館高校野球部グラウンド整備に伴う協議内容と整備対策の状況は。また9月の豪雨で冠水した、渋川一帯の排水対策は。

市長 県教育委員会との協議、調整を継続していく。排水対策についても、排水流域の土地利用や、浸水被害の要因分析を実施している。また、公園整備とともに効果的なアクセスを確保できるように、検討している。

市の奨学金制度について

議員 東北職業能力開発大学校の学生の市内企業への就職および居住を条件としての奨学金返済の免除・軽減・猶予の措置を要望する。**教育長** 市が実施している企業への雇用促進制度などの人材確保の支援策を踏まえながら、他の自治体の先進例を参考に、調査・研究したい。

「宮城県南北ダービー」その目的は

市長／両市の魅力向上とさらなる発展期待



佐藤 千昭 議員



手渡された挑戦状

議員 白石市との、「宮城県南北ダービー」に取り組んだ経緯を伺う。

市長 高速交通網を活かした企業誘致や子育て支援自然環境、観光振興など取り組みの方向性も類似している。また、人口減少や過疎化など共通の課題もある。今後さらに飛躍発展していくためには両市がお互い切磋琢磨しながら競い合っていくのが有効と考えた。

議員 市の活性化に向けて

どんな期待をしているか。

市長 優れている点を参考に、業務改善が図られることや、職員のレベルアップおよびモチベーションの向上なども期待でき、両市の魅力向上とさらなる発展につながることを期待している。

議員 第一弾でふるさと納税を選んだ理由を伺う。

市長 各種政策に対して両市のファンや支援者を増やしていくことが有効なことでと地場産品による魅力の発信も行える制度である。

森林経営管理制度がスタートしたが

議員 制度発足に伴う、経営計画作成のメリットは。

市長 荒廃した森林の解消や伐採後の再造林が促進され、土砂災害などのリスクが減り、市民の安全・安心に寄与する制度である。

議員 市内の広大な森林の経営管理集積計画の策定には、森林・林業に関する一定の知識を有する人材が必要と思う。その対応は。

市長 現在専門的知識を有する人材の確保・配置に向けて取り組みをしている。

○有害獣被害対策も質問

台風被害への対応は万全か

市長／営農に支障がないよう 今年度中に処理



あべ 貞光 議員



河川災害の早期復旧を

議員 台風19号により水路や道路に堆積した稲わらは、市が処理することになるが状況把握・処理スケジュールは、また、河川決壊により農地に流入した土砂撤去はどこで行うのか。

市長 堆積状況は各総合支所や土地改良区などと連携し現地確認しており95か所を把握している。業者との協議を進め営農に支障がないよう今年度中に処理を終える予定としている。また農地に流入した土砂は農地災害復旧事業で、市が撤去

と客土を行う計画で査定を受ける事になっている。

議員 被災個所の復旧スケジュールと、同規模の災害に備えた復旧になるか。また、冠水により稼働できなかった排水機場の復旧は、

市長 補助災害140か所、単独災害515か所、合計で655か所となっている。単独災害は測量設計業務が完了し次第復旧工事を順次発注していくが補助災害については12月9日から年末まで災害査定が予定されており、事務手続き後の発注となる。復旧方法については現状で原型復旧が原則となる。また、排水機場の復旧は県全体の災害査定方針として、電気設備の高上げを行い浸水に備えた方法による復旧を検討している。

議員 照越川は河川改修の用地買収が行われている現状にあり、全面着手と決壊箇所への復旧工法を聞く。

市長 照越川を管理する県では平成29年度から局部改良に着手し引き続き実施していく。また、決壊した2か所は堤防の盛土とコンクリートブロック護岸による復旧を検討している。

台風19号の被害対策に万全を

市長／全力で対応している



たけし 猛 議員

議員 ①被災証明・罹災証明の発行数②被災者支援の周知は十分か③流入稲わらの処理状況は④稲わらの受け入れ期限の延長を考えよ。

市長 ①被災証明が214通、罹災証明は64通である②市民への周知は検討を重



台風19号水害

ねていく③流入稲わらの処理は3288立方メートルが搬入されている。④搬入期限の延長は柔軟に対応する。

医療の抑制にならないか

議員 被保護者健康管理支援事業は生保者に後発医薬品の使用を勧めたり保健指導を強めるものだ。受診の自己抑制につながるのでは。

市長 生活習慣病や重症化予防などが目的であり受診

抑制はないと認識している。

会計年度任用職員制度は

議員 来年度から臨時職員や非常勤職員は会計年度任用職員になるがどう変わるか、また行政区長の身分は、

市長 職務年数を考慮して給料報酬が決定され期末手当も支給される。

行政区長の身分は「地域住民の聴取などは特別職非常勤職員であり、文書配布業務は私人として委嘱する」

スクールバス停へ駐輪場を

議員 スクールバス乗降場で生徒の自転車風雨にさらされているが駐輪場が必要では。

教育長 高清水地区から南中への生徒数は75人でバスが73人、保護者の送迎が2人である。乗降場へ駐輪場を設置する予定はない。

決壊による稲わらの処理は

市長／市道排水路は市で、圃場は農家処理対応を



議員 庄喜 喜 市道 排水路の堆積は市で対応。圃場は各農家へ収集運搬をお願いする。補助は1平方メートルあたり5000円。業者委託は50000円を超えた金額の50%を市独自支援の補助。国の支援策のため補助金の上限や減額は無い。

議員 荒川、照越川の決壊による災害処理と今後の減災構築について①被災稲わらが側溝、土手、圃場に大規模堆積されており、市での処理は、②農家個人で処理する域を超える膨大な量である。補助は全額支払い



照越川決壊と荒川越水による稲わら大規模堆積

か、また上限はあるのか。

市長 ①市道、用水路の堆積は市で対応。圃場は各農家へ収集運搬をお願いする。補助は1平方メートルあたり5000円。業者委託は50000円を超えた金額の50%を市独自支援の補助。②国の支援策のため補助金の上限や減額は無い。

議員 荒川、照越川の決壊による土砂の撤去は、**市長** 農地に流入した土砂の撤去は公共施設の災害に

起因。農地など、災害復旧事業として市が復旧する。

議員 加倉地区の新幹線高架から約300坪の荒川上流は堤防が低く越水対策は、**市長** 県との栗原地域建設行政連絡会議でもかさ上げ

など対策を要望していく。**議員** 川砂除去、樹木伐採に關し総務省が創設する財政支援で、荒川、照越川も取り組むよう県と交渉すべきと考えるが。

市長 昨年の西日本豪雨今年の台風で河川氾濫発生国の財政支援策を活用し堆積土砂撤去、支障木伐採をして頂くよう県に要望。**議員** くりこま高原停車場線の植栽管理について今後の対応はどうか。

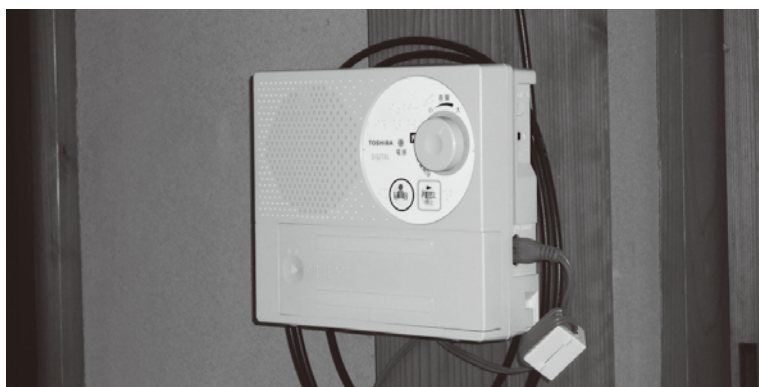
市長 県は、除草、剪定作業を実施しているが適正に管理し道路環境の美化に努めるとのこと。市の玄関口であり県に要請する。

防災行政無線の每户設置を図れ

市長／戸別受信機の每户配布に向けて検討する



議員 幸浩 市道 排水路の堆積は市で対応。圃場は各農家へ収集運搬をお願いする。補助は1平方メートルあたり5000円。業者委託は50000円を超えた金額の50%を市独自支援の補助。国の支援策のため補助金の上限や減額は無い。



防災行政無線の每户設置を

議員 甚大な自然災害に対する防災行動のためにも、防災行政無線の戸別受信機每户設置が必要不可欠と思うが、市の見解を問う。

市長 現在国では、必要最小限の機能を備えた安価な機種の開発に向けて、関係事業者と協議を行っているとの情報もあり、今後の国の動向を注視して検討して行く。

議員 学府くりはら塾の名称で、中学校・高等学校合

同学習会が開催されていたが、今年度は実施が見送られている。このような中学校・高等学校連携の学習会の開催は、大変貴重な機会でもあり、実施していくべきと思うがその見解を問う。

教育長 中学生と高校生が共に学ぶ機会は、貴重な機会ではあるが、市内の各高校においても、学校独自の講習やゼミなどが実施されており、市が主体的に行う合同学習会の実施は難しいものと考えます。

議員 トイレの洋式化が一般化する中で、市内の公共施設においても、トイレの洋式化改修について、その実施における見解を問う。

市長 トイレの洋式化改修について、下水道や浄化槽の条件が整っている施設から検討して行く。

議員 栗原市においても不祥事などが報道され、これでは子どもたちに規範を示せない。栗原は市民宣言として、「子どもたちに規範を示す栗原市民宣言」を提唱するべきと思うが市長の見解を問う。

市長 市民宣言の先進事例を研究して検討して行く。

くりはら市議会だより 第63号



いしかわ しょうこう
石川 正運 議員

大雨で流出した稲わら処理を問う

市長／営農に支障がないよう進めていく



膨大に集まった稲わら処理

議員 台風19号で浸水冠水圃場の面積と稲わらの量と堆積の量が多く処理の困難な箇所は。

市長 面積は3000畝で量は把握できない。堆積の多い場所は26か所を確認している。

議員 大量に流入した稲わらの処理対策は。

市長 市の追加支援策は業者に委託して撤去した際その経費が1立方メートルあたり5000円を超えた場合

超過した経費の2分の1を支援する。

議員 用排水路および排水機場のプール、土手、堤防に堆積した稲わら、土砂の撤去は。

市長 稲わら、土砂については順次営農に支障がでないように進めていく。

議員 太田排水機場は大雨の度に水没し稼働不能になっている。プールを設置し移設すべきではないか。

市長 電気設備高上げを行っている浸水に備えた復旧を検討している。プール設置については十分考慮しながら県に要望していく。

なぜいま開催「道の駅」懇談会

議員 道の駅市民懇談会を市内5か所で行ったがその目的は何か。

市長 市民の意見、アイデア、ニーズや出店候補者などを把握する目的のため開催した。

議員 懇談会では若い世代の方の出席も多く、具体的な希望、要望が多いと感じたがどう反映していくのか。

市長 若い方々の意見を基本構想策定へ生かしていく。

「キッズゾーン」の設置を

市長／関係機関と連携し検討



みづ よしひろ
三浦 善浩 議員



保育施設の周辺に必要な「キッズゾーン」

議員 ①保育施設（幼稚園・保育所）の周辺道路（散歩コースなど）に、警察などと協議して「キッズゾーン」を設置してはどうか。

市長 ①関係機関と連携し実際に即した適切な設定が

常に備えよ 災害対策

できるよう検討していく。

議員 今年、台風19号という大規模な災害に見舞われた。近年の異常気象に伴い、毎年のように大雨災害が全国どこかで起きている。①避難所では雑魚寝の状態であったが、段ボール製の簡易ベッドやパーティションを用意すべきではないか。②市内の介護施設で

は、利用者の災害時の避難体制が整っているのか。③『避難所が開設されたけれども、移動手段をもっていない高齢者は、どうすればいいのか。』という声が寄せられた。このような時市ではどう対応するのか。

市長 ①県内の段ボール製造業者と協議を行い、協定締結に向け打ち合わせる。②各事業所に対して、避難体制の整備などに万全を期すように指導する。③行政

再接種の費用一部助成を

議員 小児がんの治療を終えた20歳未満の市民に、予防接種を再接種する費用の一部を助成してはどうか。

市長 助成制度の実施に向けて、前向きに検討する。

「市道栗原辻前線」結論を示せ

市長／総合計画掲載事業は重く扱う



議員 小野 範男

ベルで協議、計画変更の場合が期間が1年以上となり農家負担も生じ、受益者の同意は困難と判断した。

議員 これまでの、一連の答弁を整理して、どのように感じたか。

議員 いよいよ、県営ほ場整備事業「稲屋敷・袋地区」の面工事が開始された。同地区の農道の拡幅について、市長答弁の「早急な県協議」は、いつ行ったか。

市長 「市道栗原辻前線」整備事業は、旧栗駒町から引き継いだ重点事業である。国道4号への接続を含めた構想は、延長が9キロメートルに及ぶ大事業で、総合

市長 要望へは、「北側には国道457号、南側には市道鳥巡祝田線と、幹線道路網は既に形成済みで、あくまで農業用道路として認識」などと回答している。

議員 前市長は、絶対必要な事業として総合計画に掲載した。今、ほ場整備に至った段階で、「市道栗原辻前線」整備事業を否定する理由を、あれこれとあげつつう事は理解できない。こうしたことを平気でやれば市民への大きな裏切りだ。地域間のバランスに欠け「政争のまち」へと惹き起される懸念がぬげえない。

市長 総合計画の掲載事業であり、重く受け止める。



重機の轟音と共に面工事が進む

市長 総合計画の掲載事業であり、重く受け止める。

市民の声

市長／市民の声に耳を傾け実施



議員 片岡 一孝



請願が採択された上田線

議員 上田山牧野に計画された汚染牧草堆肥処理施設多くの市民は白紙になったと理解していたが、ならない理由はなぜか。

市長 市民の皆様には理解を得られないので別の建設場所を検討中である。

議員 市道上田線、請願で採択された路線である。早急に整備すべきと思うが見解を聞く。

市長 市民の市道上田線にかける思いは十分理解をしている。さらに進度を上げて研究していく。

議員 滝ノ原地内の市道と万代地内の用水路が設計ミスにより流れが悪い。早急に修繕すべきではないか。

市長 現地を確認し精査・調整のうえ検討する。

議員 栗駒松倉水押地内に杉植栽の市有林があり熊・イノシシの被害が多発している。早急に伐採すべきと思うが見解を聞く。

市長 川原の水量確保と鳥獣被害の現況を見ながら間伐や下草刈りを実施していく。

議員 若柳大林地内の東北新幹線の高架橋から迫川堤防までの間のU字溝に土砂が堆積し、排水が非常に悪い。早急に整備すべきと思うが見解を聞く。

市長 市民生活に支障を来たさぬようこの排水対策を確認し、改善していく。

議員 道路照明灯や防犯灯の設置・生活道路の整備など軽微な事業を優先して実施してほしいと思うが見解を聞きたい。

市長 市民からの声に耳を傾けながら道路照明灯や防犯灯の設置・生活道路の整備を実施していく。

台風19号 自主防災組織の機能強化を 市長／自主防代表者会議で確認と検証



たかし かつお 高橋 勝男 議員

議員 台風19号による避難所の開設、避難勧告後の市の対応は。

市長 高齢者などの避難は区長や民生委員にお願いした。自主防災組織の代表者には、高齢者の一人暮らしや高齢者世帯に避難の呼びかけを行った。

議員 自主防災組織の活動内容を把握しているのか。

市長 避難行動要支援者に声をかけた。自力避難が困難な方を避難所まで連れ



自主防災組織の訓練の様子

て行ったなど一部地域の事は伺っている。今後、代表者会議を開催し、今回の台風における避難状況の確認と検証を行う。

議員 市内の自主防災組織の訓練実績はどうか。

市長 252組織中、平成29年は73回、平成30年は86回となっている。

議員 訓練回数が少ないのではないかと、自然災害が多発する中、自主防災組織の活動強化が必要と思うが。

市長 将来的には、防災指導員を中心とした組織として自立するよう支援していく。

議員 栗原市立3病院の位置づけと、今後の対応は。

病院管理者 今後出てくるコンサル案を基に、一般病床の縮小や地域包括ケア病床への機能転換など、市立病院・診療所の機能分担病床数の適正化などを図っていききたい。

議員 機能分担や病床数の適正化実施時期を令和3年10月としているが、市民の声を大切にしてほしい。

病院管理者 市立病院や診療所の方向性を出した上で令和2年度中には、説明会を実施する予定である。

大土ヶ森登山道の管理徹底を

市長／今年度は草刈実施せず



さとう ふみ お 佐藤 文男 議員

議員 大土ヶ森は鶯沢地区と文字地区の間にある580坪の低山で、栗駒山の南に位置し、大土ヶ森・中ノ森・櫃ヶ森の「文字三山」として存在感を示し、見る場所によっては「文字富士」と呼ばれ美しい姿を見せている。

登山道は沢沿いの溪流コースと中央コースがあり山頂手前の急勾配は熊落とし坂、鼻こすり坂などロープを頼りに登るところが続き山頂に至る。

登山道から約2・4キロ約90分で登れる変化に富んだ山で、初級から中級まで味わえる大土ヶ森の魅力を発信する観点から以下の点



見通しのきかない頂上付近

についてはどうか。

議員 合併後の登山道の管理はどうなっているか。

市長 鶯沢総合支所と若柳警察署が合同で登山道調査を行っている。

議員 今年は登山道の草刈りはしていないように見受けられたが、毎年草刈りをするべきと思うがどうか。

市長 草刈りは、今年度の登山に支障がないことから実施しなかった。今後も調査の上対応していく。

議員 途中の観察広場にある東屋は、強風によるものが横になったままである。今後どうするつもりか。

市長 東屋は27年に倒れたものと思うが、今後撤去する方向で検討している。

◎その他の質問

- 県立高校にエアコン設置を求めよ
- 一迫商業高校野球部室内練習場の活用を
- 商店街街路灯の総点検を

メガソーラー設置を規制する条例の制定を

市長／国・県の動向を注視し 調査研究



おの ぎゅういち 議員
小野 久一

議員 栗原市では関東・東北豪雨、今年の台風19号で河川の堤防が決壊し大きな被害がでた。現在のメガソーラーの設置状況を見ると河川流域に住んでいる住民は益々洪水の恐怖にさら

される。市内におけるメガソーラーの設置場所と今後計画されているものを示せ。
市長 築館3、栗駒4、高清水6など全部で19か所にある。今後は築館2、栗駒4、鶯沢1など10か所に計画されている。

市長 県では林地開発許可申請があつた場合、市の意見を求められることから市では関係部署で現地確認の上、必要な意見や要望を付して県に回答している。
住民への説明不足に起因する事案が発生していることから県は太陽光発電施設



大規模太陽光発電のパネル(築館地区)

市長 県は昨年水門・排水機場を設置する案と金生川に必要な堤防高を確保する案で検討の結果、後者の計画で進めると聞いている。

河川整備と水害防止対策を急げ

議員 栗駒泉沢地区は二道川の堤防が強化・かさ上げされるほど金生川を逆流しての水害の恐怖にさらされている。右岸に堤防を造り排水機場の設置が必要でないか。

県医療支援事業へ申請経緯は

病院事業管理者／市計画と事業目的の一致



たかはし すすむ 議員
高橋 将



持続可能な開発目標 -SDGs-

議員 ①県地域医療構想推進支援事業の経緯は②市のコンサル委託との違いは③提示される案はどう活用するか④市民への周知や理解をどう深めるのか
病院管理者 ①経営改善を目的に市でコンサル委託予定だったが、目的が一致しており申請した。②委託経費が全額県負担となり委託期間も短い。③令和7年までとそれ以降の案が2つ以上示される。令和11年まで

各年度の収支予測も示される重要な資料となり、内容をもとに病院機能の変更や病床数の適正化など検討に活用する。④令和2年度に市民と意見交換を行う予定。広報誌を活用し経営状況など情報発信を行なっている。

SDGsの取り組みを急げ

議員 ①導入の議論は進んでいるか②後期総合計画策定前に市民と運用行い計画策定にノウハウ活かしては。
市長 ①職員がSDGsを意識して業務する必要があると考へ今年度内の研修会実施を進めている。②そのように認識している。

文化財の管理体制は適正か

議員 ①市指定登録文化財の価値を保つため指定後のチェックなど適正管理が必要では②文化財の価値判断が未定の状況で文化財を撤去するのは適正ではない。
管理体制を改善すべき。
教育長 ①早急に対応する②今後は事業担当課と連携を密に管理徹底を図る。

危機管理体制を充実せよ

市長／庁議を重ね万全を期す



市長 高橋 嘉郎



膨大な量の稲わらに茫然とする人たち

議員 台風19号は10月12日から13日にかけて雨が猛烈に降り、瀬峰泉谷で264ミ、高清水で258ミだった。泉谷では1時間雨量が52ミで滝のように降った。12日午前11時30分に災害対策本部を設置、13日午後3時に早々と廃止した。混乱や弊害はなかったか。

市長 栗原市地域防災計画に基づき、職員配備体制の縮小を行った。混乱はなかった。

議員 最初の災害状況報告では、被害は262か所だった。第20号報告では1400か所以上だ。今後の災害対策には万全を期してほしい。

市長 今回の台風被害の状況、対応について庁内でさらに議論していく。

議員 洪水ハザードマップに、浸水深を表示して、早期の避難行動をとってもらう工夫をするべきでは。

市長 次のハザードマップ更新時に県と協議し、表記したい。

議員 市民がわかりやすいハザードマップをつくるべきだ。瀬峰駅前浸水経験があるのに着色表記されていない。

市長 支流や内水による氾濫も反映していきたい。

議員 ハザードマップ表紙に、想定雨量が462ミと表記してほしい。

市長 わかりやすくする。

議員 瀬峰小学校舎の雨漏り、栗原南中学校舎の老朽化が心配だ。

教育長 雨漏りの調査をし早急に修繕する。南中の校舎は具体的に検討し、大規模改修する。

「桜を見る会」市長の見解は

市長／市の表彰名簿の保管は30年



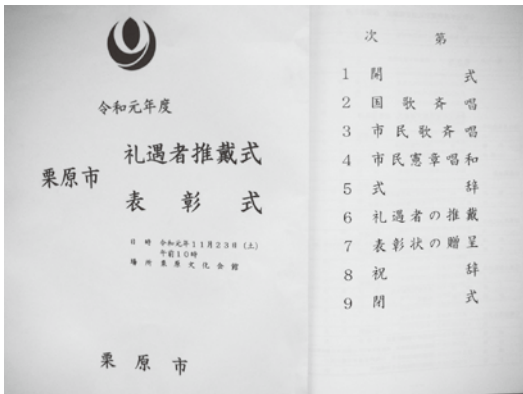
議員 菅原 勇喜

議員 安倍総理主催の今年の「桜を見る会」が予算の3倍を超える5589万7000円使われていた。憲法が定める財政民主主義を無視し、国政を私物化しているのではないか。

市長 国民に不信感や疑念を抱かせるもので大変遺憾に思っている。

議員 招待者の名簿をシュレッダーにかけ処分しているが、市長の見解は。栗原市表彰式名簿、予算執行文書の保存期間は。

市長 招待者名簿は、保存年限を定め適切に管理していくことが大事と考えている。栗原市の表彰式に関する保存期間は30年保存である。予算執行文書は5年保存であり、決算議会前に廃



栗原市の名簿保管は30年

棄することは無い。

女川原発2号機再稼動に反対せよ

議員 3400億円を投じ検査に合格したとして、再稼動に向けて動き出したが汚染稲わら、汚染牧草の処理が収束していない状況での再稼動は絶対に認められない。栗原市が石巻市民1万3000人、女川町民6760人を46施設で受け入れる広域避難計画を作ること自体、事故を前提とするものであり、絶対に認められない。市長は明確に反対の意思表示をせよ。

市長 原子力の単独災害の場合の避難計画であり、複合災害の場合は栗原市も避難を必要とする可能性がある。再稼動は、徹底した安全性の確保と、県民の理解が必要なものと考えており、安全性が確保されない限り、するべきではない。